



株主のみなさまへ

第56期 事業報告

2008.3.1 ~ 2009.2.28





TOP Message

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

ここに第56期(平成20年3月1日から平成21年2月28日まで)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

全体の概要

当事業年度におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機を背景に、世界経済の失速に伴う輸出が鈍化するとともに、急激な円高が企業収益を圧迫したことにより、企業業績の急速な悪化、雇用不安から個人消費が落ち込み、景気の急速な悪化が続くという厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社では収益向上を図るため経営の効率化や財務体質の強化を推し進め、また「心豊かになる生活提案を続け、お客様の感動と従業員の成長と幸福を追求します」という経営理念に基づき、商品とサービスの質の向上を追求し、売場改善と品揃えの強化、取扱商品の見直し等を行うとともに、店舗の快適性向上に注力してまいりました。

これらの結果、当事業年度におきまして、売上高は13,993百万円(前年同期比 6.5%減)となりましたが、利益率の高いリユース商品関連の売上が伸びたこととレンタル商品の粗利率が改善したことにより売上総利益率が1%改善し、更に T ポイント還元収益の増加とともに、全般に亘り販売費及び一般管理費の圧縮に努めた結果、営業利益 185 百万円(前年同期比 51.6%



増)、経常利益 442 百万円(前年同期比 17.4%増)となりました。当期純利益に関しましては、収益力の低下等の影響による減損損失 165 百万円、株価急落による投資有価証券評価損 197 百万円、店舗閉鎖等による固定資産除却損 38 百万円を含む特別損失 460 百万円が発生したことにより、11 百万円(前年同期比 88.8%減)となりました。

店舗につきましては、1店舗出店し、6店舗退店して 52 店舗(前事業年度末 57 店舗)となっております。既存店におきましては、1店舗の移転増床を行いました。

部門別概要

(TSUTAYA 事業)

洋画、海外ドラマの作品不足によりレンタルは売上が伸びず、CD・DVD 販売店舗の減少と、ゲームツタヤでの新品ゲーム販売が低調だったため、売上高は 6,985 百万円(前年同期比 7.4%減)となりました。

(BOOKOFF 事業)

当期の新店舗に加え、昨年8月より会員向けの携帯電話へのセール情報の配信を開始し、下半期は客数が前年同期比プラスに転じ、品揃えを強化した文庫、単行本、DVD、ゲームの売上が伸びたことにより、売上高は 3,387 百万円(前年同期比 3.6%増)となりました。

(ゲーム事業)

中古ゲームがハード、ソフト共に好調に推移し前年実績を上回りましたが、新品ゲームにつきましては、引き続きゲームソフトのタイトル不足と、前年に





大きく伸ばしたゲーム機本体が当期は反動で低調に推移したことにより、売上高は 2,563 百万円 (前年同期比 10.2%減)となりました。

(ファッションその他事業)

前事業年度に比べ店舗が減少したこと、消費の冷え込みによる影響が大きく、売上高は 1,056 百万円 (前年同期比 18.6%減)となりました。

今後の方針

今後の見通しにつきましては、世界的な景気後退に伴い、わが国経済も輸出や企業収益が大幅に減少することが予想され、個人消費も引き続き減少し、厳しい経営環境が続くものと思われまます。その一方で、リユース商品や手軽に楽しむことのできる娯楽に対する関心・需要が高まる傾向にあると考えております。

このような状況の中、当社は顧客ニーズを捉えた商品やサービスの充実により「顧客満足の創造と追求」を継続し、経営環境の変化に対応して安定的な収益が確保できる仕組みづくりを目指し、以下の点に注力してまいります。

- (1) 既存店収益力向上のため、店舗の損益分岐点を下げ、併せて店舗運営力の向上に努めてまいります。
- (2) 既存店を見直し、店舗改装と移転増床により経営効率を上げてまいります。
- (3) 出店は、ロードサイドだけでなくSCや駅前立地を対象とし、店舗譲受等も併せて業容の拡大に努めてまいります。
- (4) コンプライアンス管理、リスク管理体制を強化してまいります。



以上の施策を的確に実施することにより業績の伸長に全力を上げてまいります。また、企業の経営環境が変化するなか、経営体制の整備により、健全で効率的な経営を進めていく所存であります。

今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 後藤 行 宏



貸借対照表

(単位:千円)

| | 55期(B) | 56期(B) | 増減額(B)-(A) |
|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 2,164,764 | 2,262,387 | 97,623 |
| 売掛金 | 78,923 | 62,695 | △16,228 |
| たな卸資産 | 1,712,397 | 1,430,770 | △281,627 |
| その他流動資産 | 499,650 | 509,795 | 10,145 |
| 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | 5,620,973 | 5,231,614 | △389,359 |
| 無形固定資産 | 44,205 | 42,838 | △1,367 |
| 投資その他の資産 | 4,061,783 | 3,576,126 | △485,657 |
| 資産合計 | 14,182,699 | 13,116,229 | △1,066,470 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | | | |
| 買掛金 | 394,792 | 305,922 | △88,870 |
| 短期借入金 | 1,094,119 | 450,240 | △643,879 |
| その他流動負債 | 682,353 | 1,102,301 | 419,948 |
| 固定負債 | | | |
| 社債 | 480,000 | 140,000 | △340,000 |
| 長期借入金 | 623,040 | 272,800 | △350,240 |
| その他固定負債 | 567,129 | 591,170 | 24,041 |
| 負債合計 | 3,841,435 | 2,862,43 | △979,001 |
| 純資産の部 | | | |
| 資本金 | 2,546,671 | 2,546,671 | — |
| 資本剰余金 | 2,705,505 | 2,705,505 | — |
| 利益剰余金 | 5,020,450 | 4,963,142 | △57,308 |
| 自己株式 | △317 | △317 | — |
| その他有価証券評価差額金 | 68,953 | 38,792 | △30,161 |
| 純資産合計 | 10,341,264 | 10,253,794 | △87,470 |
| 負債純資産合計 | 14,182,699 | 13,116,229 | △1,066,470 |

*1 たな卸資産

売上以外の増減要因

・商品在庫の減少 △281百万円

*2 有形固定資産

・減価償却費計上による減少 △252百万円

・減損損失・臨時償却による減少 △220百万円

・投資有価証券評価損計上による減少 △197百万円

・差入敷金保証金の減少 △147百万円

*3 買掛金及び借入金

・買掛金の減少 △88百万円

・借入金の返済による減少 △643百万円

*4 社債及び長期借入金

社債の減少 △340百万円及び、長期借入金の減少 △350百万円は、事業規模の圧縮(△1,066百万円)に依るもの

損益計算書

(単位:千円)

| | 55期(B) | 56期(B) | 増減額(B)-(A) |
|--------------|------------|------------|------------|
| 売上高 | 14,972,615 | 13,993,920 | △978,695 |
| 売上原価 | 8,630,100 | 7,917,908 | △712,192 |
| 売上総利益 | 6,342,514 | 6,076,012 | △266,502 |
| % | 42.4% | 43.4% | 1.0% |
| 販売費及び一般管理費 | 6,220,272 | 5,890,747 | △329,525 |
| 営業利益 | 122,241 | 185,264 | 63,023 |
| % | 0.8% | 1.3% | 0.5% |
| 営業外収益 | 919,405 | 858,688 | △60,717 |
| 営業外費用 | 664,890 | 601,473 | △63,417 |
| 経常利益 | 376,756 | 442,479 | 65,723 |
| % | 2.5% | 3.1% | 0.6% |
| 特別利益 | 38,868 | 123,074 | 84,206 |
| 特別損失 | 158,510 | 460,455 | 301,945 |
| 税引前当期純利益 | 257,113 | 105,097 | △152,016 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 127,500 | 108,015 | △19,485 |
| 法人税等調整額 | 24,704 | △14,666 | △39,370 |
| 当期純利益 | 104,909 | 11,748 | △93,161 |
| % | 0.7% | 0.0% | △0.7% |

*1 売上高

| | |
|--------------|------------|
| ・TSUTAYA 事業 | 6,985 百万円 |
| ・BOOK OFF 事業 | 3,387 百万円 |
| ・ゲーム事業 | 2,563 百万円 |
| ・ファッションその他事業 | 1,056 百万円 |
| 合計 | 13,993 百万円 |

*2 営業利益

売上高が減少するも販売費及び一般管理費も減少
売上高に対する営業利益率が改善されたことから
営業利益額は前期比増加した

*3 特別利益・特別損失

| | |
|---------------|---------|
| ・出資金返還益 | 49 百万円 |
| ・貸倒引当金戻入益 | 26 百万円 |
| ・役員退職慰労引当金戻入益 | 26 百万円 |
| ・減損損失 | 165 百万円 |
| ・固定資産除却損 | 38 百万円 |
| ・固定資産臨時償却費 | 54 百万円 |
| ・投資有価証券評価損 | 197 百万円 |

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 55期(B) | 56期(B) | 増減額(B)-(A) |
|------------------|-----------|------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 114,598 | 855,523 | 740,925 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △185,675 | 394,982 | 580,657 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △722,784 | △1,101,059 | △378,275 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △793,861 | 149,445 | 943,307 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,819,764 | 2,025,902 | △793,861 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,025,902 | 2,175,348 | 149,445 |

*1 営業活動によるキャッシュ・フロー

| | |
|-----------|--------|
| ・税引前当期純利益 | 105百万円 |
| ・減価償却費 | 278百万円 |
| ・減損損失 | 165百万円 |
| ・仕入債務の増加 | 291百万円 |
| ・法人税等の支払 | △13百万円 |

*2 投資活動によるキャッシュ・フロー

| | |
|---------------|--------|
| ・敷金・建設協力金の回収 | 291百万円 |
| ・定期預金の払戻 | 50百万円 |
| ・投資有価証券の売却・償還 | 81百万円 |
| ・有形固定資産の取得 | △92百万円 |
| ・投資有価証券の取得 | △30百万円 |

*3 財務活動によるキャッシュ・フロー

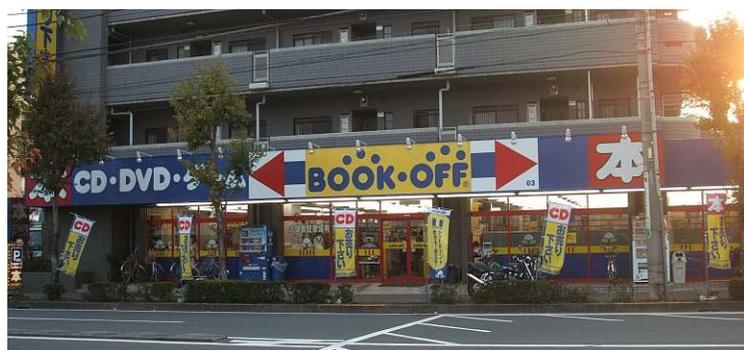
| | |
|-------------|---------|
| ・短期借入金の純増減額 | △546百万円 |
| ・長期借入金の返済 | △446百万円 |

主要な事業所及び店舗

| 事業所名 | 所在地 | 店舗数 |
|-----------|----------|-----------|
| 本部 | 静岡県沼津市 | |
| カルチャー店舗 | 静岡県沼津市他 | 23 店舗 |
| | 神奈川県座間市他 | 15 店舗 |
| | 東京都府中市他 | 2 店舗 |
| | 愛知県名古屋市 | 3 店舗 |
| | 京都府京都市他 | 2 店舗 |
| | 埼玉県狭山市他 | 2 店舗 |
| メンズ店舗 | 静岡県沼津市 | 1 店舗 |
| カジュアル店舗 | 静岡県清水町他 | 2 店舗 |
| レディース店他 | 静岡県富士市他 | 2 店舗 |
| 合計 | | 52 |



TSUTAYA 沼津原店
移転リニューアル致しました。
コミックレンタルを開始。
ご来店をお待ちしております。



BOOKOFF 横浜緑警察署前店
JR 横浜線「中山駅」より 500m。
緑警察署前のマンション1階にて営業。



BOOKOFF 沼津リコー通り店
リニューアルオープン致しました。
棚レイアウト、構成比率の大幅見直し、「商品量の増加」
「明るい店内」となりました。

株式の状況

大株主

(2009年2月28日現在)

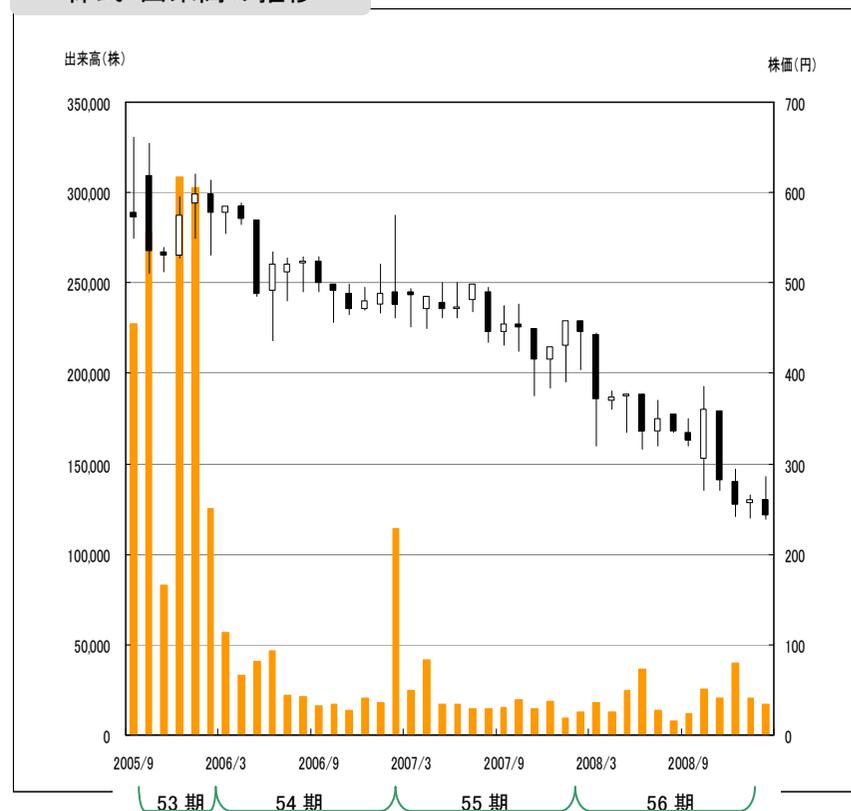
(単位:株)

| 株主名 | 所有株式数 (株式比率) |
|-----------------|-----------------|
| 有限会社ゴトーエンタープライズ | 3,481,920 37.8% |
| 後藤 行宏 | 1,058,558 11.4% |
| 後藤 菊枝 | 672,832 7.3% |
| 有限会社ジーティー企画 | 520,000 5.6% |
| 後藤 全弘 | 427,150 4.6% |
| ゴトー共栄会 | 360,900 3.9% |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 231,000 2.5% |
| 日本ジャンボ株式会社 | 188,900 2.0% |
| 株式会社静岡銀行 | 173,000 1.8% |
| 株式会社静岡中央銀行 | 100,000 1.0% |

| | |
|-----------|--------------|
| ■発行可能株式総数 | 24,634,000 株 |
| ■発行済株式の総数 | 9,207,753 株 |
| ■株主数 | 834 名 |

(前期末比 9 名減)

株式・出来高の推移



役員

(2009年5月28日現在)

| | |
|---------|---------------|
| 代表取締役社長 | 後藤 行宏 |
| 代表取締役専務 | 後藤 久徳 (事業本部長) |
| 常務取締役 | 土橋 文彦 (管理本部長) |

【執行役員】

| | |
|-------|------------------|
| 市川 文宏 | (管理本部 人事部長) |
| 後藤 知弘 | (管理本部 財務部長) |
| 高橋 英明 | (事業本部 カルチャー事業部長) |
| 小原 政寛 | (管理本部 部長) |
| 内堀 守 | (管理本部 管理部長) |

| | |
|------------------|--|
| 株式メモ | |
| 事業年度 | 3月1日～翌年2月末日 |
| 基準日 | 定時株主総会については2月末日 その他の必要があるときは、あらかじめ公告いたします。 |
| 利益配当金受領 株主確定日 | 毎年2月末日 |
| 中間配当金受領 株主確定日 | 毎年8月31日 |
| 公告掲載 URL | http://www.gms.co.jp/goto/ir/ 当社の公告は電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 |
| 株主名簿管理人 | 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120 - 232 - 711(通話料無料) |
| 単元の株式数 | 100株 |

お知らせ

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより 24 時間受け付けておりますので、ご利用ください。

TEL 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱 UFJ 信託銀行に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。

特別口座についてのご紹介及び住所変更等につきましては、下記口座管理機関(三菱 UFJ 信託銀行)の連絡先にお問合せください。

TEL 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行なっていただくこととなります。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱 UFJ 信託銀行の本支店でお支払いいたします。

株式会社

〒410-0063 静岡県沼津市緑ヶ丘10番地の1

TEL (055) 923 - 5100

ゴトーホームページ <http://www.gms.co.jp/goto/>